



阿賀町社協だより

よつは

第86号

令和5年
10月16日発行

あした、もしも災害が起きたら…



ふだんの備えできていますか？



阿賀津川中学校2・3年生 総合的な学習の時間「防災×福祉」

9月7日、14日の2日間、2・3年生に福祉・防災学習を行いました。14日は、阿賀黎明学舎コーディネートのもと、津川・鹿瀬・上川地区の民生委員児童委員、阿賀町役場庶務防災係にご協力いただき、旧小学校エリアに分かれて地域のハザードマップを見ながら危険な場所や避難所を民生委員さんから教えてもらいました。

座談会では「ふだんの備え、あったらいいな」をみんなで話し合い、「地域でイベントしてみんな顔見知りになる」「地域のみんなで避難訓練する」などの意見が出されました。ぜひ地域で実現できるようになるといいですね！



編集・発行

社会福祉法人 阿賀町社会福祉協議会

〒959-4402 東蒲原郡阿賀町津川664番地 TEL 0254-92-3088 FAX 0254-92-5177



左記のQRコードから
ホームページが
ご覧いただけます。

会長就任のあいさつ

社会福祉法人 阿賀町社会福祉協議会

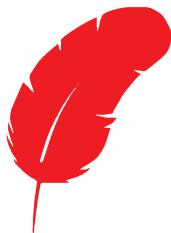
会長 阿 部 時 也



令和5年6月23日付けで、6期12年勤められた長谷川前会長から引き継ぎ、阿賀町社会福祉協議会会长に就任しました阿部時也です。

会員の皆様には、日頃から社会福祉協議会の活動に対し、ご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

当協議会は、人と人、人と地域社会のつながりを大切にし、公益性と非営利性をもつ社会福祉法人として各種事業を展開しています。当協議会の円滑な運営と、地域福祉の充実・発展のため、役職員一同皆様のお力添えをいただきながら日々努めてまいりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。



赤い羽根共同募金が 始まりました！

10月1日
12月31日

運動
期間

赤い羽根共同募金は地域のさまざまな福祉事業や民間の福祉団体の貴重な財源として使用されます。

高齢者が安心して暮らせる地域づくりや、生きがい・健康づくり、子育て支援のほか、大規模な災害が起こった際に被災された人たちとボランティアをつなぐ災害ボランティアセンターの設置運営支援等に役立てられます。

目標額

3,108,000円



なぜ目標額があるの？？

赤い羽根共同募金は、地域の福祉を応援するために、あらかじめ翌年度に使用する事業費の計画を立て、目標額を設定し皆様にご協力をあお願いする「計画募金」です。その計画に必要な額を目標額として設定し、募金活動を行います。

共同募金の配分を受けて実施する主な計画や事業をご紹介します

ブックスタート事業

10ヶ月児を対象に、読み聞かせを通じた家族や地域の人とふれあいのきっかけになるように絵本をプレゼントします。

花いっぱい～花✿花プロジェクト～

学校や老人クラブ、施設、学童クラブなどで花植えや押し花作りで世代間交流をしながら、作品を配食サービス利用者にプレゼントして世代間交流を広げます。

福祉活動団体支援

阿賀町社協ほか老人クラブ連合会や身体障害者福祉協会、手をつなぐ育成会、阿賀町暮らしネット、あやG'sキッチン、ふれあい金鉢などの福祉活動団体へ助成します。

ボランティアセンターの運営

福祉教育の一環として、地域のサロンや民生委員に協力してもらい学校での福祉学習の実施や、ボランティアきっかけ講座の開催などで担い手づくりを行います。

身体障害者タクシー利用料助成

身体障害者手帳1・2級、療育手帳Aを所持している方を対象に利用券(650円×12枚※申請月により変動)を助成します。

社会福祉大会の開催

社会福祉の発展に功績のあった社会福祉関係者を表彰し、優れた活動内容を紹介することで福祉活動の普及や推進をめざします。

令和5年度阿賀町社会福祉大会開催のお知らせ

日時 令和5年11月25日(土)
10:00～12:00(受付9:30)

場所 阿賀町総合福祉保健センター
やまぶきの里

プログラム

- 社会福祉功労表彰
- 講演「人口・世帯構成の推移から見る、
阿賀町の地域づくりのこれまでとこれから」

講師 川北 秀人 (IIHOE 代表者)

講師プロフィール：



1964年大阪生まれ。87年に京都大学卒業後、株式会社リクルートに入社、91年退社。その後、国際青年交流NGOの日本代表や国会議員の政策担当秘書などを務め、94年にIIHOE設立し、NPO・市民団体と行政との協働の基盤づくりを進めている「小規模多機能自治」の推進を提唱している。
※阿賀町では、平成26年以来、二度目の講演となります。

- アトラクション（調整中）

あがまちフリーマーケット(同時開催)

阿賀町社会福祉大会においてあがまちフリーマーケットを開催します。収益は、全額赤い羽根共同募金に寄付し、町の福祉活動のために活用させていただきます。皆様のあたたかいご支援・ご協力をお願いします。

ご家庭で不用になった品物を提供ください

家庭で使っていない品物を集めています。あがまちフリーマーケットで活用します。

※新品、未使用品に限ります。

※受領出来ない品物（酒類、期限切れの食品、危険物、書籍、生鮮食品）



フードドライブにご協力お願いします

フードドライブとは、「食べ物を集める運動」という意味で、家庭で余っている食品を集めフードバンクあが等の支援団体が生活に困っている方へ届けます。

- 常温保存可能な食品、未開封の食品、賞味期限がまだある食品
- お米・お餅
 - 缶詰・瓶詰
 - 乾麺・海苔
 - お菓子・飲料
 - レトルト食品
 - インスタント食品
 - 調味料・食用油
 - など
- お中元・お歳暮贈答品などのご寄付も大歓迎

受付期間：10/30（月）～11/17（金）まで 時間：9:00～17:00（土日祝日を除く）

受付場所：町社会福祉協議会本所（やまぶきの里）、町社会福祉協議会三川支所（三川保健センター）

24時間テレビチャリティー募金



募金総額

60,628円

ご協力ありがとうございました

8月24日～8月30日までの期間、阿賀町社会福祉協議会に募金箱を設置しました。
集まった募金は、すべて24時間テレビチャリティー委員会に送金させていただきました。
みなさんの温かいご協力ありがとうございました。

ジュニアも シニアも できることから！

集う★学ぶ★楽しむ★つながる

「味方になりきるコミュニケーション講座」

新潟県ゲートキーパー協会 時田幸子さんを講師にお迎えしました。

少人数でアットホームな会となり、「近所の方のお話を聴いたり、畠の手伝いをしたり、元気でいるか確認しあいたい」「自然な見守りと支えあいの大切さを確認できた」と参加者から感想をいただきました。

様々な地域活動、ボランティア活動において「傾聴」は基本的な姿勢としてとても大切なことです。

今後も継続して講座を開催していく予定です。



おやG'sキッチンによる「コーヒー講座」～認知症講座 講話&寸劇&ミニ座談会～



“趣味から仲間づくり、地域活動へ”を体現したおやG'sキッチンの皆さんから、コーヒー豆・焙煎・お湯の温度などこだわり満載のコーヒー講座を開催しました。地域活動支援センターたんぽぽさんのシフォンケーキをお供に、自分たちでいれたコーヒーで和やかに会話が弾みました。

コーヒーの心地よい香りの中、認知症地域支援推進員による認知症講座。認知症の方、家族、地域、みんなにとって暮らしやすくなるにはどうしたらよいかを話しました。



小学校×デイサービス×地域の集い

「あったかハート届けたい！」というスローガンのもと、4月から津川小学校4年生は、地域の集いやデイサービスセンターで歌や工作を披露し地域のみなさんと交流をしています。



ふれあいデイサービス阿賀



のんフレイルかのせ



平堀あじさい会×ほっとサポート とこなみ

児童クラブ×地域の集い×高齢者弁当配達ボランティア

児童クラブでは、「地域のことを知る、体験する福祉」として地域のサロンや高齢者への弁当配達体験をしています。子どもたちの訪問に地域は活気づきます！



かみかわ児童クラブ×高清水サロン「雪割草」



つがわ児童クラブ



みかわ児童クラブ

住みなれた地域で 安心して暮らし続けられる地域をめざして

～阿賀町地域福祉活動計画策定にむけて～

地域福祉活動計画とは？

毎日暮らしている中で、困っていること、悩み、不便なことなど地域には様々な生活課題があります。生活課題への不安や悩みは高齢者だけでなく、年代や障がいの有無を問わず抱えている方がいます。

「地域福祉活動計画」は、地域における様々な課題について、自分たちの問題として捉え、その課題の解決を図るために、地域で取り組むことを具体的にまとめる行動計画です。

現在の取り組み

今年度中に、地域の生活課題を把握するために4地区で地域座談会を開催します。また、各地区のサロンや老人クラブ、団体等から生活課題や地域活動について聞き取りのほか、高校生や子育て世代の方へアンケートも実施する予定です。

地域に暮らすすべての人が、住みなれたまちで安心して、いきいきと暮らし続けることができる地域社会の実現をめざします。



新しいサロンができました！

五十沢サロン（三川地区）



コロナ禍で集落行事がなくなり、地域の人が顔を合わせる機会が少なくなりました。今こそ地域で集まりガヤガヤ話す場所を作りたい！という思いで地域でサロンが立ち上りました。



無理せず自分たちのペースで、
できることを続けていきたいです

新型コロナウイルスの第5類への移行に伴い、少しずつ地域の活動が再開・活発になってきています！外に出て、顔を合わせ、人とつながることを大切さを改めて実感しています。

（生活支援コーディネーター）

絵本でふれあい ブックスタート事業



しののすけ
阿部新之介くん



はる
上田陽琉ちゃん



かずとし
薄和寿くん



いと
田崎偉斗くん



いつ
杉崎慈ちゃん



ひかり
石川陽花里ちゃん



この事業は赤い羽根共同募金を活用して実施しています



阿賀町身体障害者福祉協会 ミュージックふれあい交流会

10月3日、新潟ふれあいプラザでふれあい交流会が開催されました。

県内各地区の県身連加盟団体から推薦された代表者のカラオケによる歌唱や楽器演奏を楽しみました。今回は、阿賀町の会員がステージに登場し、参加した7名で応援し盛り上がりました！



ご寄付ありがとうございました

社会福祉事業推進のために使わせていただきます。

清野 義昭 様
100,000円

広報誌「よつば」に関するアンケートにご協力ください

住民の皆さんから広報誌「よつば」に関するご意見・ご要望をお聞きし、「見やすく、親しまれる」紙面づくりに反映していくたいと思います。



▲
こちらからアンケートの回答フォームにつながります



この広報紙は、赤い羽根共同募金助成金で発行しています。